

アフターコロナを見据えた 中長期的な取り組みについて

コロナ禍における目の前の危機や課題への対応から、収束後の回復・展開に移る、いわゆるアフターコロナを見据えた中長期的な取り組みについて、以下の設問にお答えください。

Q1 アフターコロナを見据えて、十勝が地域全体で取り組みを進めていくことが望ましい産業施策は？

Q2 アフターコロナを見据えて、貴社の既存事業で今後取り組んでいくことは？

【調査要領】

調査要領 調査先数368社 回答数281(回答率76.4%)
調査時点 2020年12月1日～2020年12月7日
調査地域 当金庫本支店所在地
調査方法 調査表の郵送による調査、当金庫本支店職員による面接聞き取り調査

業種別内訳	調査数 回答数 回答率 (%)			企業規模(従業者数)別内訳			地区別内訳		
	調査数	回答数	回答率 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)		
製造業	38	30	78.9	1～4人	83	29.5	市部	144	51.2
卸売業	29	25	86.2	5～9人	48	17.1	郡部	137	48.8
小売業	127	92	72.4	10～29人	84	29.9		281	100.0
建設業・不動産業	99	75	75.8	30～49人	32	11.4			
サービス業	46	35	76.1	50人以上	34	12.1			
運輸業	29	24	76.1	合計	281	100.0			
合計	368	281	76.4						

Q 1 アフターコロナを見据えて、十勝が地域全体で取り組みを進めていくことが望ましい産業施策は？

ほぼ半数の 47%が『ICTを活用したスマート農業の推進など、食や農業の取り組みの一層の拡大』を挙げた

アフターコロナを見据えて、十勝の中小企業が地域全体で取り組みを進めていくことが望ましい産業施策として、ほぼ半数の 47%が『ICTを活用したスマート農業の推進など、食や農業の取り組みの一層の拡大』を挙げ、以下、31%が『二地域居住やワーケーションの受け入れなど、関係人口の増加に向けた取り組み』、30%が『再生可能エネルギーの積極的な利活用など、脱炭素社会の実現に向けた取り組み』、22%が『アウトドア事業を梃とした新たな観光振興』、20%が『航空宇宙産業基地の誘致と関連産業の創出に向けた取り組み』と続いた。『その他』では、「商店街の活性化」、「地産地消の促進」、「若い世代への起業支援」などが挙げられ、26%が『わからない』とした。

業種別では、サービス業を除くすべての業種で『ICTを活用したスマート農業の推進～』がもっとも高い割合となり、製造業では同率で『二地域居住やワーケーションの受け入れ～』を挙げ、これは運輸業、小売業、卸売業でも2番目に高い割合となった。建設業・不動産業、サービス業では2番目に『再生可能エネルギーの積極的な利活用～』を挙げ、これは製造業、運輸業でも回答割合が3割超となった。卸売業では、『二地域居住やワーケーションの受け入れ～』と同率で『航空宇宙産業基地の誘致～』と『再生可能エネルギーの積極的な利活用～』も挙げており、その分『わからない』と回答した割合はすべての業種でもっとも少なかった。

問1 アフターコロナを見据えて、十勝が地域全体で取り組みを進めていくことが望ましい産業施策について、1～7の中から最大3つまで選んでお答えください。

(複数回答 単位: %)

		総合	製造業	卸売業	小売業	建設業・ 不動産業	サービス業	運輸業
1	ICTを活用したスマート農業の推進など、食や農業の取り組みの一層の拡大	47	47	64	46	53	26	46
2	二地域居住やワーケーションの受け入れなど、関係人口の増加に向けた取り組み	31	47	28	29	28	23	38
3	アウトドア事業を梃とした新たな観光振興	22	27	12	27	19	23	17
4	航空宇宙産業基地の誘致と関連産業の創出に向けた取り組み	20	27	28	15	20	20	21
5	再生可能エネルギーの積極的な利活用など、脱炭素社会の実現に向けた取り組み	30	37	28	23	36	26	33
6	その他	2	0	8	2	1	6	0
7	わからない	26	17	8	30	21	40	29

Q 2 アフターコロナを見据えて、貴社の既存事業で今後取り組んでいくことは？

65%が『既存事業の磨き上げや差別化による強化』としたほか、20%が『既存事業と関連する異業種への進出による事業の拡大』を挙げた

アフターコロナを見据えて、十勝の中小企業が既存事業で今後取り組んでいくこととして、65%が『既存事業の磨き上げや差別化による強化』を挙げ、以下、20%が『既存事業と関連する異業種への進出による事業の拡大』、5%が『既存事業と関連しない異業種への進出による事業の拡大』と続いた。1%が『既存事業から業態を転換する』としたほか、2%の『その他』には「ICTの活用強化を梃とした事業展開」などが挙げられ、28%は「検討していない」とした。

業種別では、運輸業を除くすべての業種で『既存事業の磨き上げや差別化による強化』がもっとも高い割合となった。『検討していない』は、最小の卸売業と最大の運輸業で大きな開きがでた。

問2 アフターコロナを見据えて、貴社の既存事業で今後取り組んでいくことについて、1～6の中から選んでお答えください。(複数回答可)

(複数回答 単位: %)

		総合	製造業	卸売業	小売業	建設業・ 不動産業	サービス業	運輸業
1	既存事業の磨き上げや差別化による強化	65	70	72	64	68	63	46
2	既存事業と関連する異業種への進出による事業の拡大	20	17	28	18	23	20	8
3	既存事業と関連しない異業種への進出による事業の拡大	5	0	0	4	7	11	4
4	既存事業から業態を転換する	1	3	0	2	0	0	0
5	その他	2	3	8	1	1	6	0
6	検討していない	28	20	4	34	25	29	54